

6 子どもを持つことへの考え

(1) 子育てについての考え

お子さんをお持ちの方全員にうかがいます。

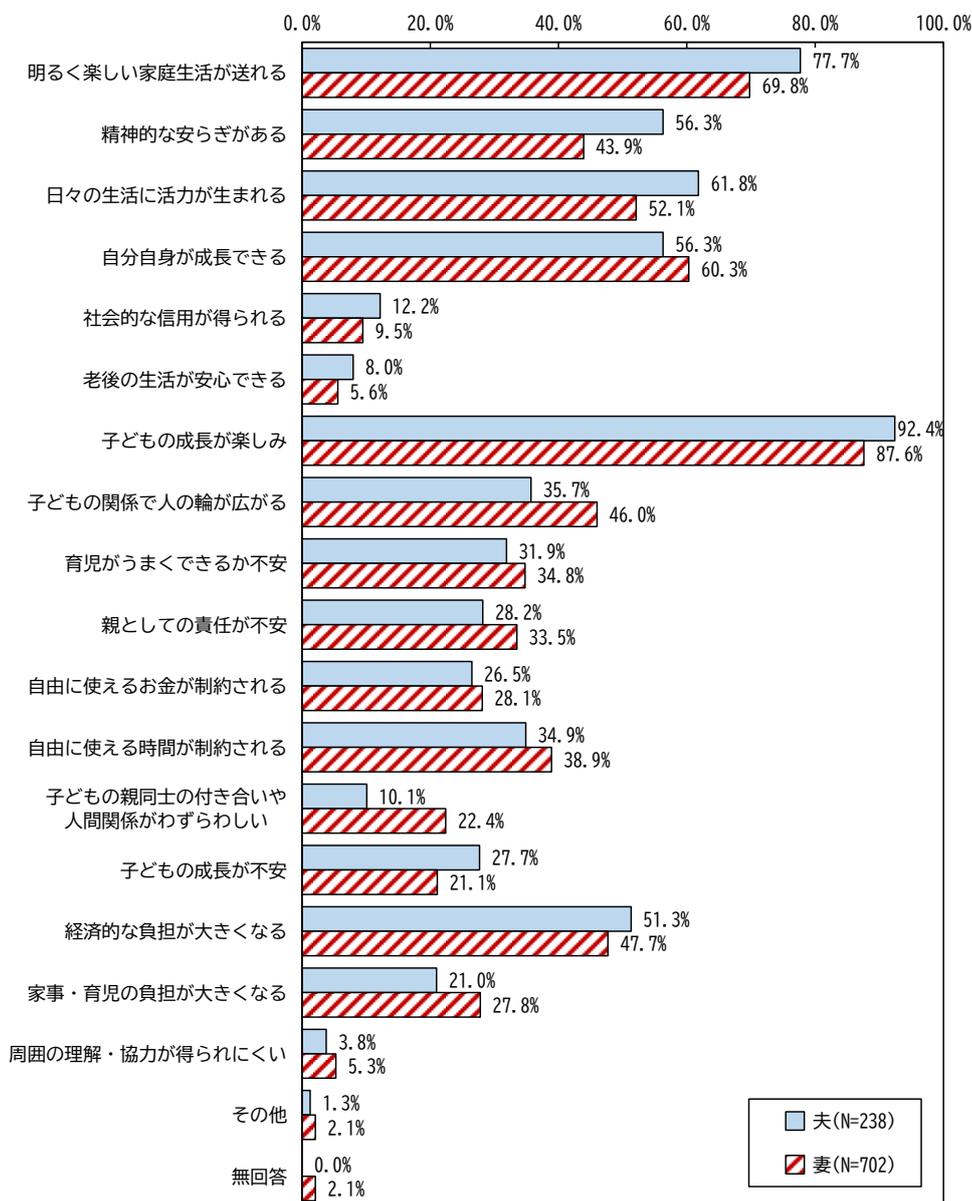
問11 あなたは、ご自身の子育てについてどのようにお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけ、最もあてはまるものに◎をつけてください。

子育てについての考えをみると、「子どもの成長が楽しみ」が夫で92.4%、妻で87.6%と最も多く、次いで、「明るく楽しい家庭生活が送れる」が夫で77.7%、妻で69.8%となっている。以下、夫では「日々の生活に活力が生まれる」が61.8%、妻では「自分自身が成長できる」が60.3%となっている。

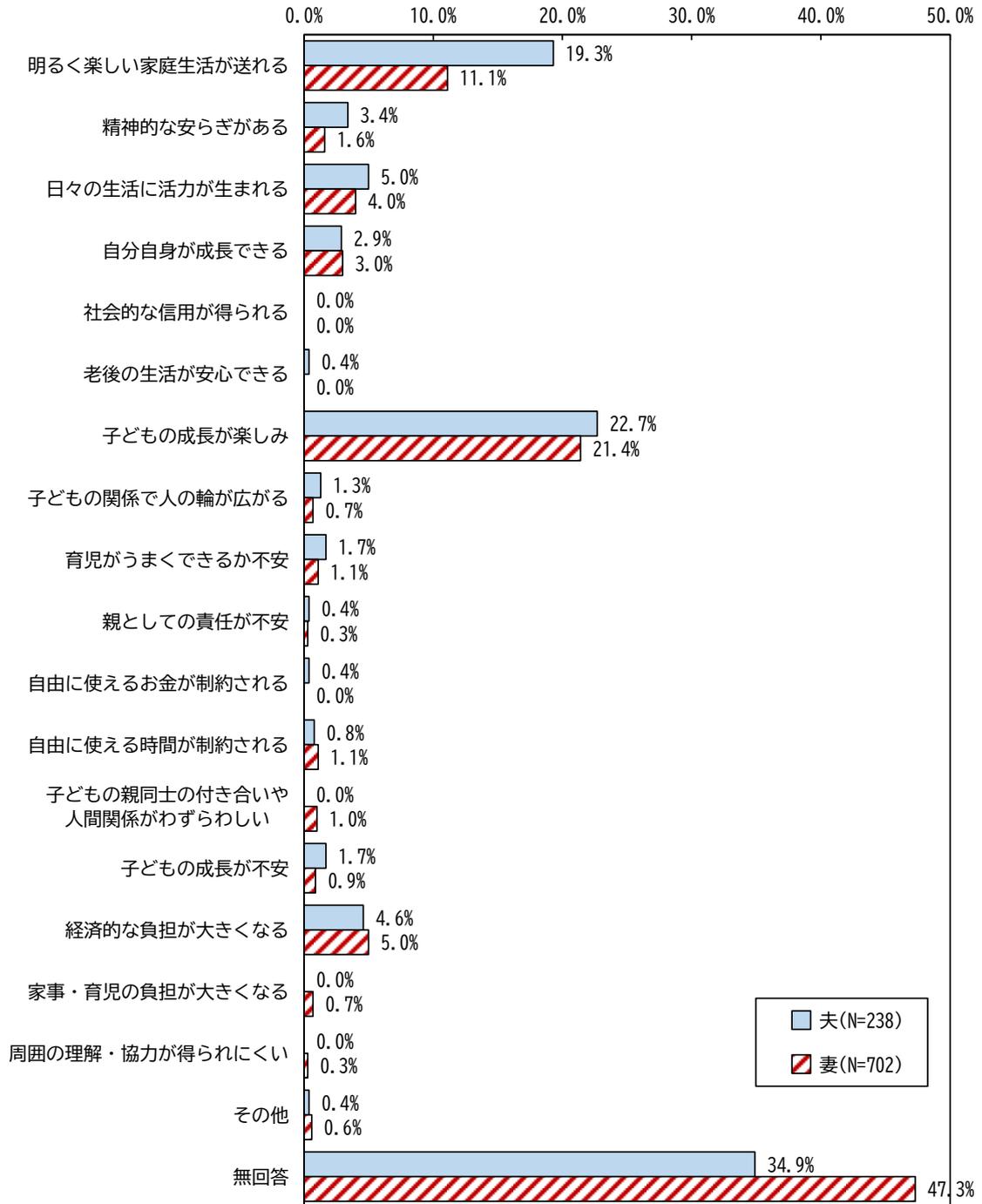
夫と妻を比べると、夫は「精神的な安らぎがある」が12.4ポイント妻より高く、妻は「子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい」が12.3ポイント、「子どもの関係で人の輪が広がる」が10.3ポイント夫より高い。

最もあてはまるものについては、夫、妻ともに「子どもの成長が楽しみ」が22.7%、21.4%で最も多くなっている。妻は、「無回答」が半数近くを占める点に留意が必要である。

図表 子育てについての考え（複数回答）



図表 子育てについての考え（最もあてはまるもの）



※新規質問項目

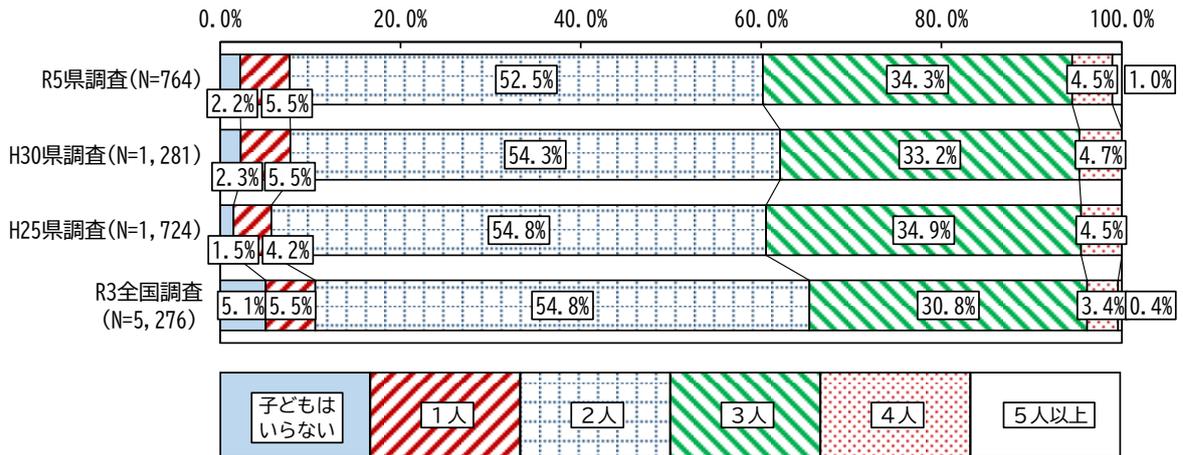
(2) 理想の子どもの人数

問12 あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。

理想の子どもの人数をみると、「2人」が52.5%で最も多く、次いで、「3人」が34.3%となっている。前回調査に比べて、大きな変化はみられない。

理想の子どもの人数の平均は2.33人だが、予定している子どもの数の平均（問13）は2.10人で、その差は0.23人となっている。前回調査の差（0.32人）と比べると、やや差は縮まっている。

図表 理想の子どもの人数

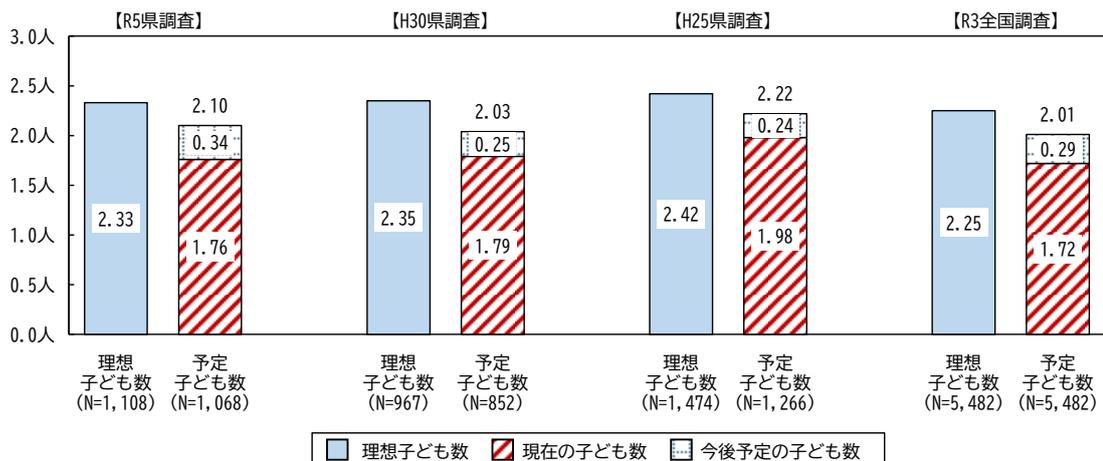


※無回答および不詳を除く

※R5 県調査、H30 県調査、R3 全国調査は初婚同士の夫婦、H25 は初婚同士の夫婦の妻

※H30 県調査、H25 県調査では「4人以上」で聴取している

図表 理想・予定・現在の子どもの平均人数



(3) 理想的な子どもの人数の理由

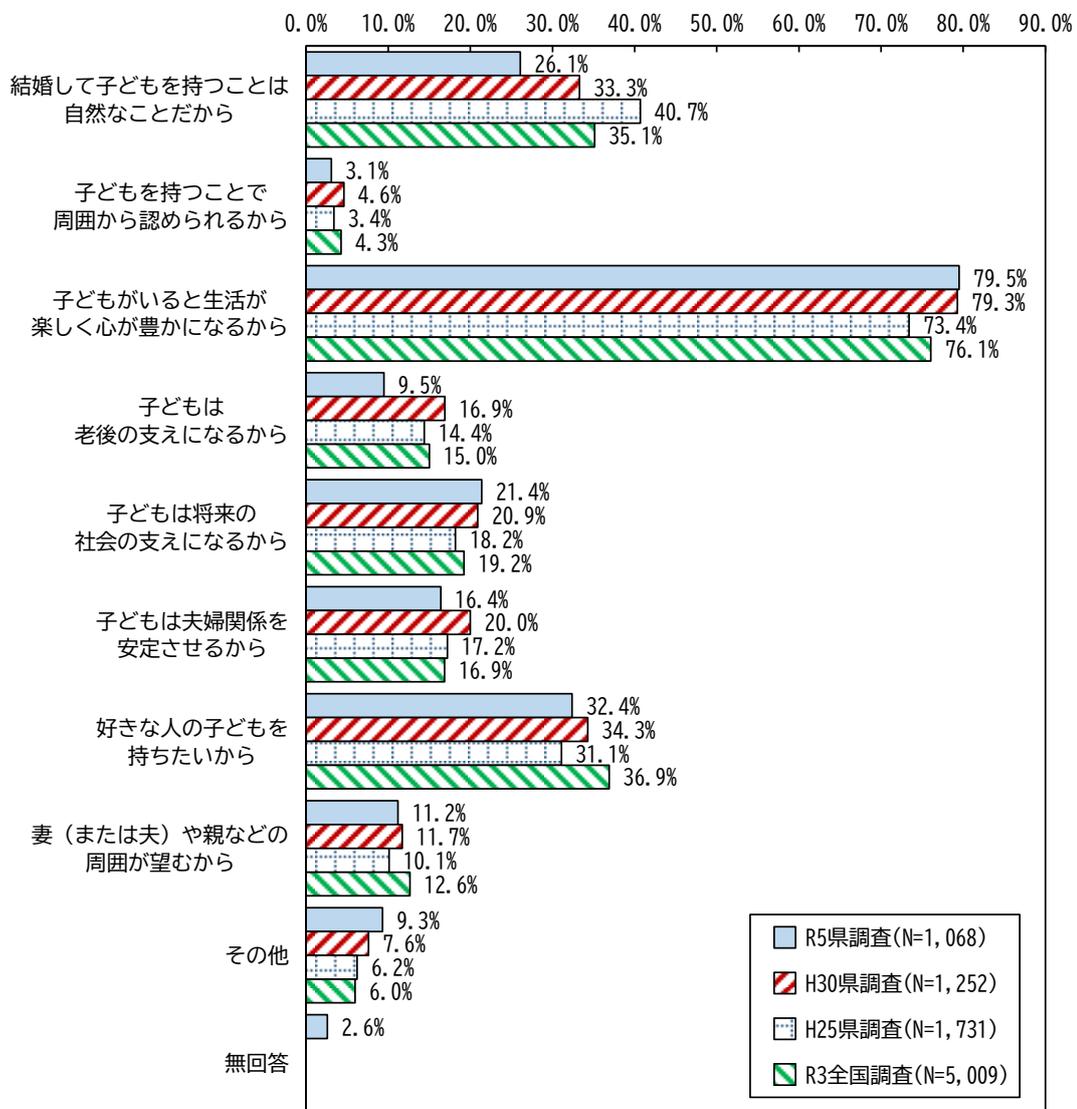
問 12-1 理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最大の理由に◎をつけてください。

理想的な子どもの人数を1人以上と考える理由をみると、「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が79.5%で最も多く、「好きな人の子どもを持ちたいから」が32.4%、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が26.1%となっている。

過去の調査と比べると、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」は低下傾向がみられ、前々回調査より14.6ポイント低下している。また、「子どもは老後の支えになるから」も前回調査から7.4ポイント低下している。

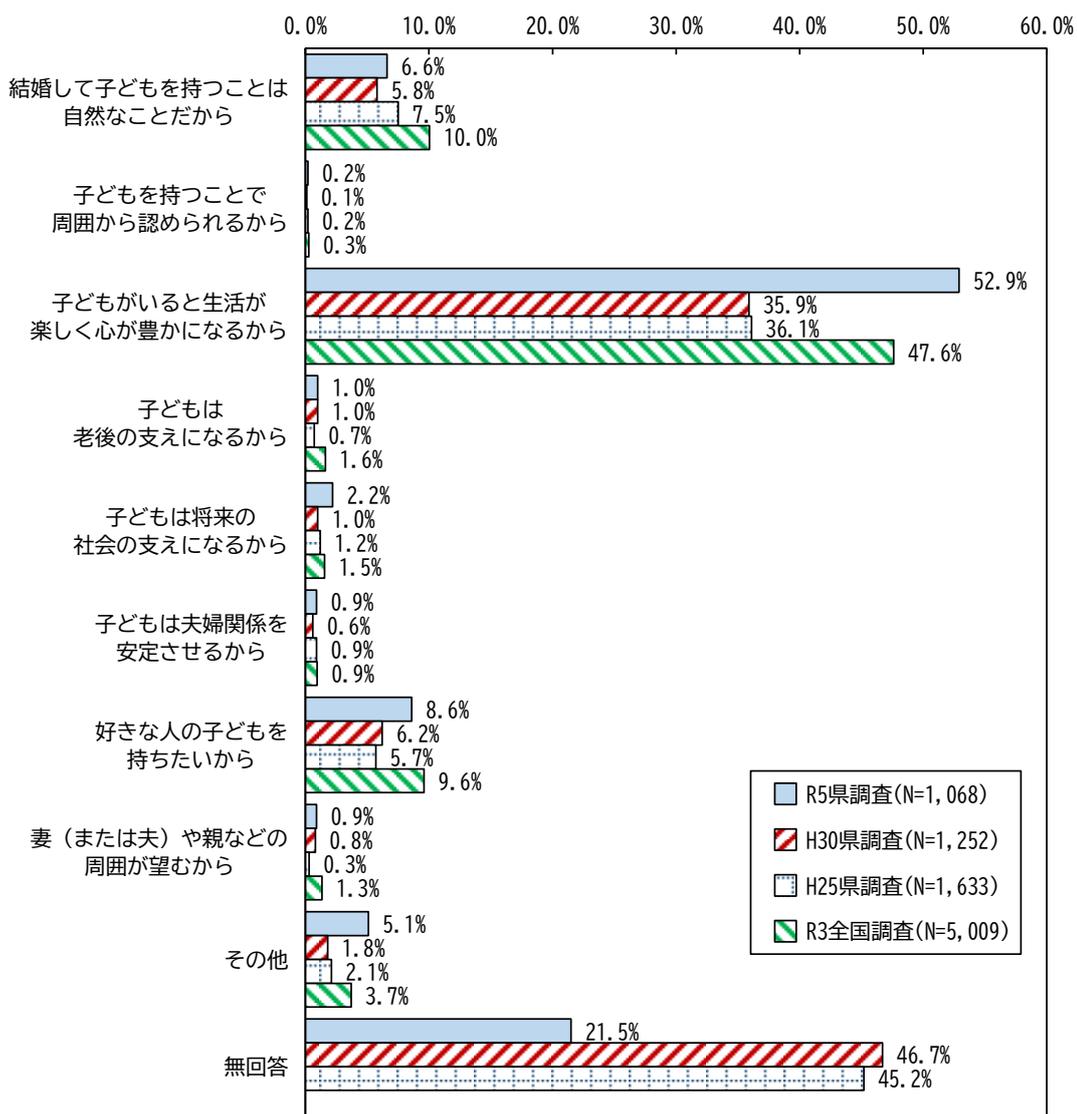
また、最大の理由をみると、「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が52.9%と半数以上を占めており、前回、前々回調査と比べても15ポイント以上上昇しているが、前回、前々回調査では「無回答」の割合が高い点に留意が必要である。

図表 理想的な子どもの人数の理由（複数回答）



※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では無回答の掲載なし

図表 理想的な子どもの人数の理由（最大の理由）



※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では無回答の掲載なし

(4) 今後の子どもの予定

問12で理想的な子どもの数を1人以上と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問16へお進みください。

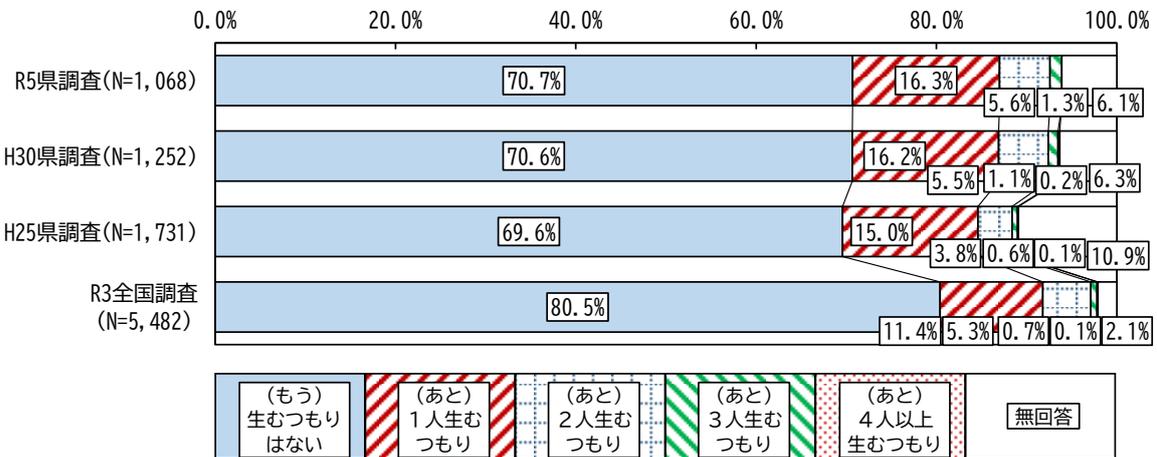
問13 あなた方ご夫婦の今後のお子さんの予定についておたずねします。①今後のお子さんの予定数と②希望の時期について、また、③今後の予定も含めて全部で何人のお子さんを持つつもりかを、あてはまる番号に○をつけてください。

今後の子どもの予定数を見ると、「(もう) 生むつもりはない」が70.7%と約7割を占めており、前回、前々回調査と比べても大きな変化はみられない。

子どもを生む予定のある方の希望の時期をみると、「できるだけ早く」が44.8%で最も多いが、前回調査よりは7.1ポイント低下しており、「現在妊娠中」が4.5ポイント上昇している。

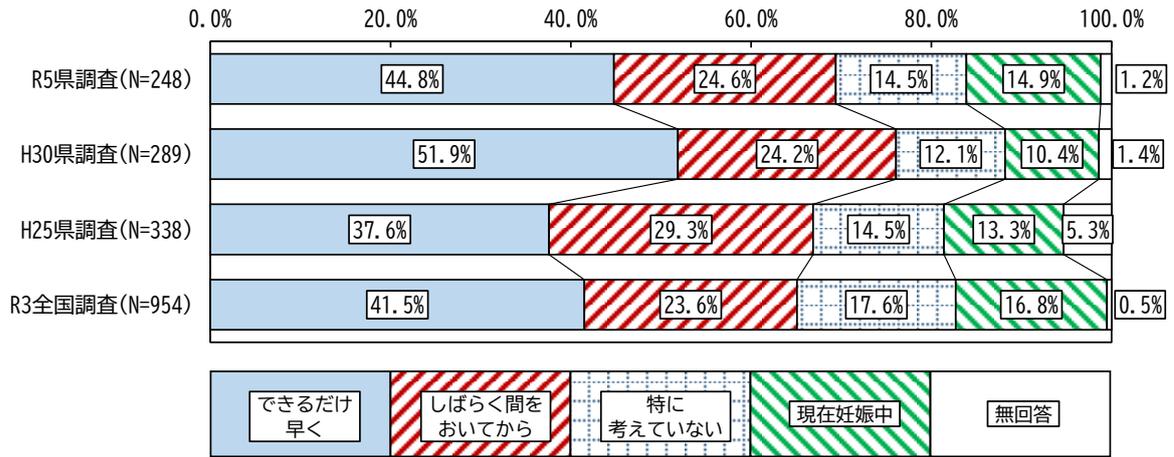
最終的な子どもの人数は、「2人」が54.7%で最も多い。前回調査と比べて、「子どもはிரらない」がやや低くなっているが、その他では大きな変化はみられない。

図表 今後の子どもの予定数

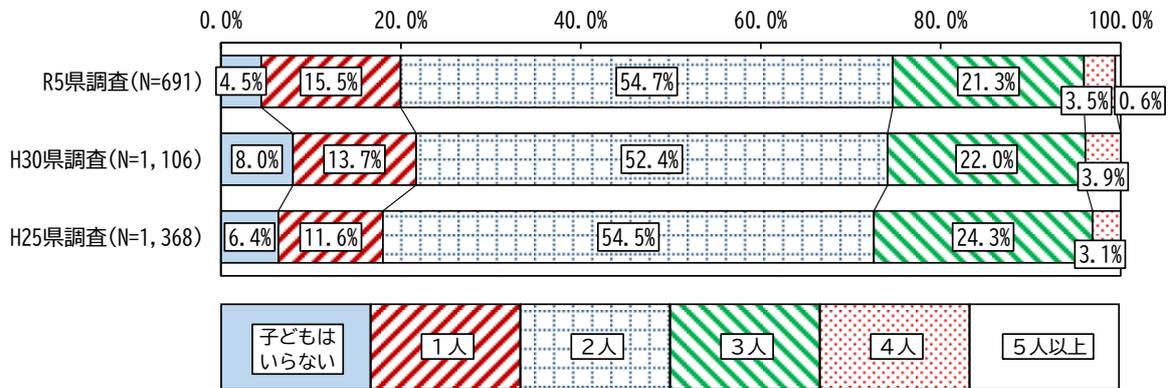


※無回答および不詳を除く

図表 希望の時期



図表 最終的な子どもの人数



※R5 県調査、H30 県調査は初婚同士の夫婦、H25 県調査は初婚同士の夫婦の妻、R3 全国調査については全体値

※H30 県調査、H25 県調査では「4人以上」で聴取している

(5) 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由

問12と問13で「持つつもりの子どもの数 (b)」が「理想とする子どもの数 (a)」より少ない方にうかがいます。それ以外の方は、問17へお進みください。

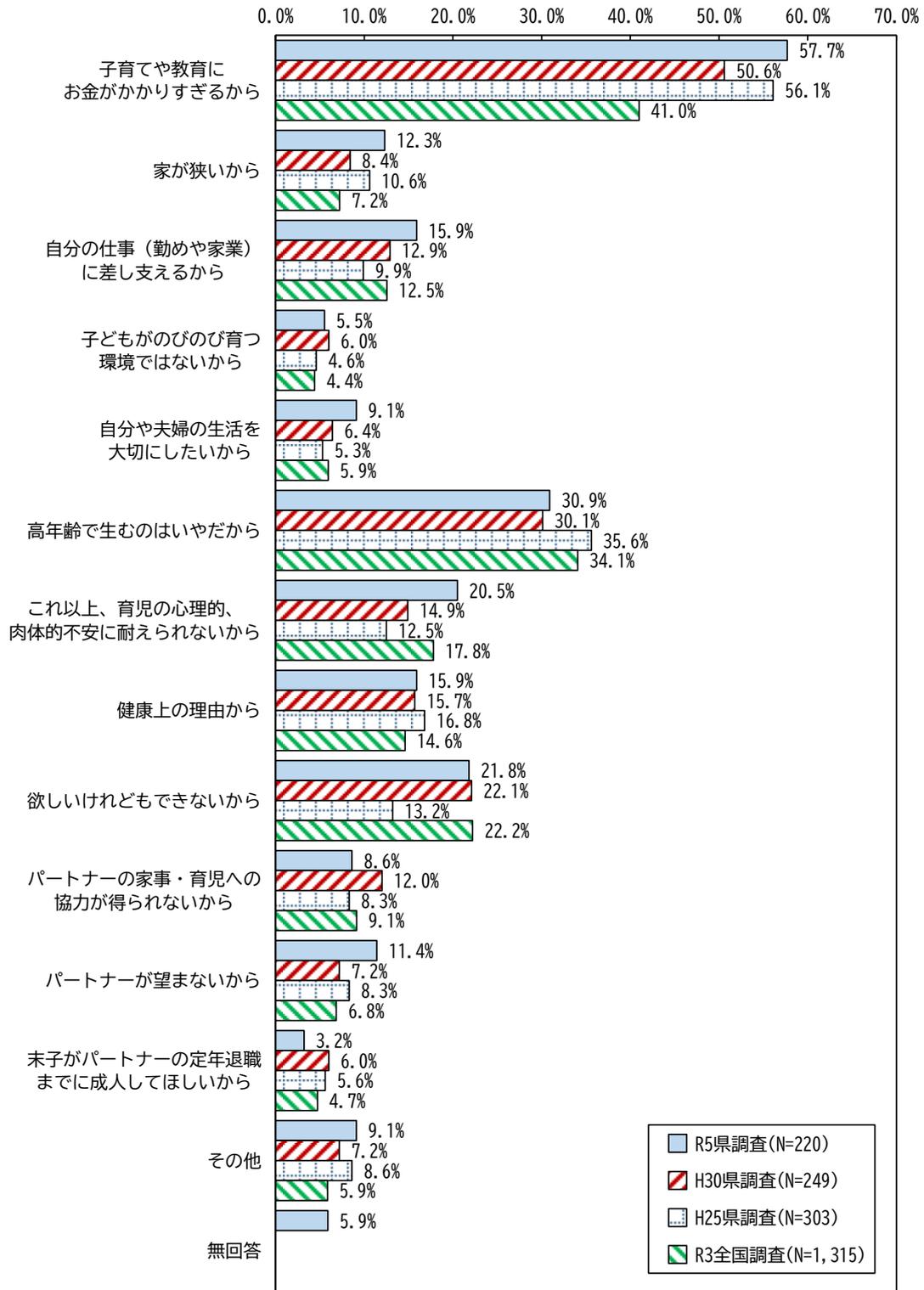
問14 持つつもりの子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最大の理由に◎をつけてください。

予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が57.7%で最も多く、次いで、「高年齢で生むのはいやだから」が30.9%、「欲しいけれどもできないから」が21.8%となっている。

前回調査に比べて、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多い点は同様だが、ポイントは7.1ポイント上昇している。また、「これ以上、育児の心理的、肉体的不安に耐えられないから」は前々回調査から上昇傾向がみられる。

最大の理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が38.2%で最も多く、複数回答同様、最も多い点は前回調査同様だが、ポイントは5.1ポイント上昇している。「欲しいけれどもできないから」が19.7%で続いている。

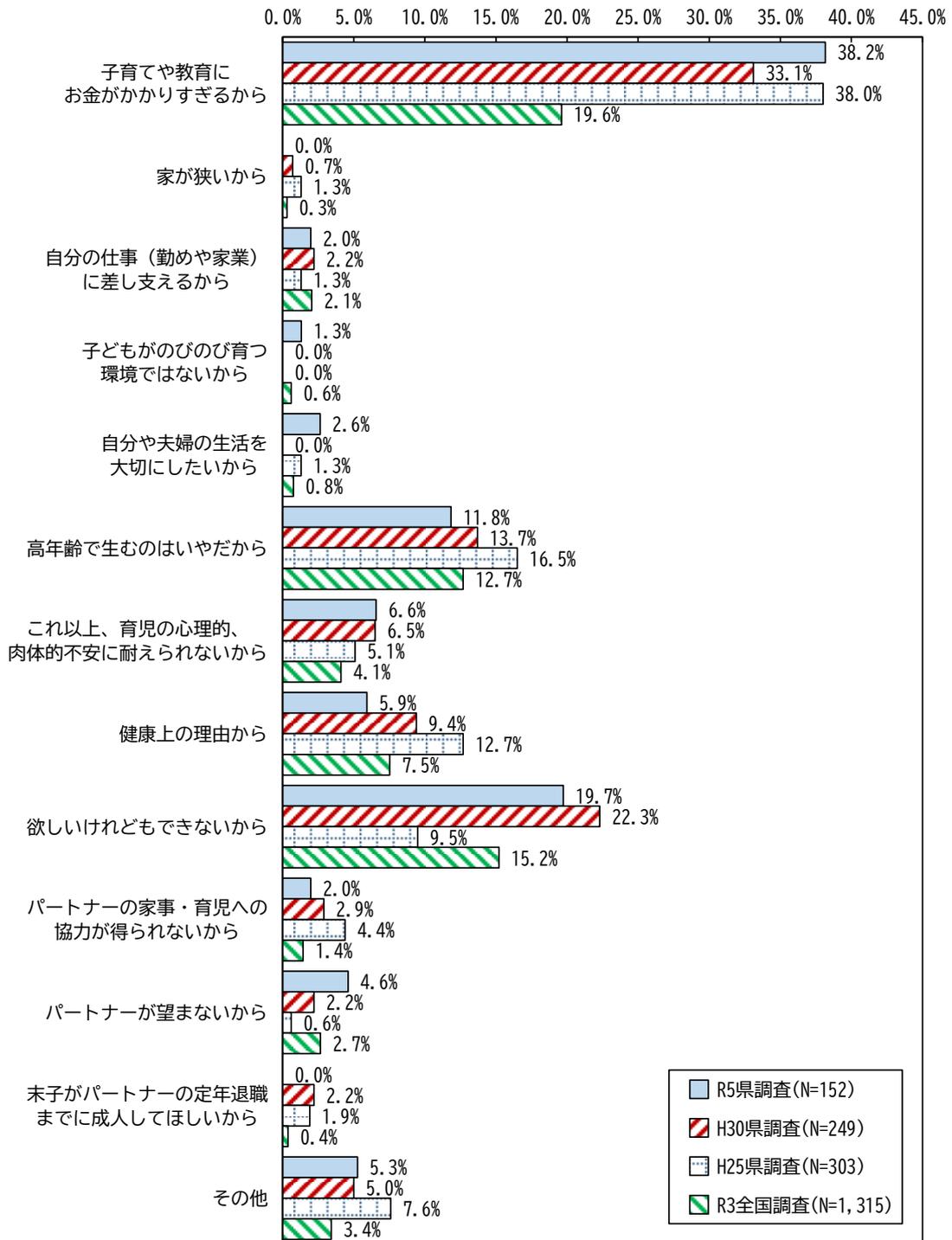
図表 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由（複数回答）（初婚同士）



※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では「パートナー」ではなく「夫」であった

※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では無回答の掲載なし

図表 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由（最大の理由）（初婚同士）



※無回答を除く

※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では「パートナー」ではなく「夫」であった

(6) 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因

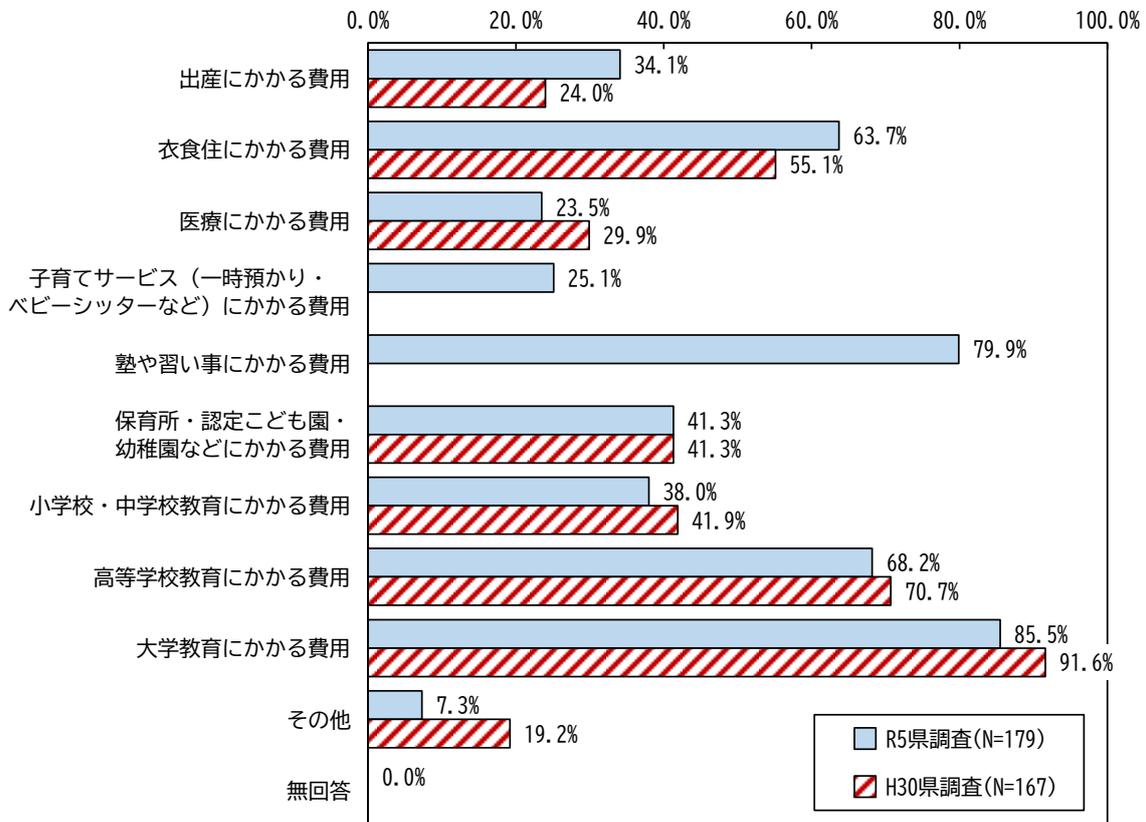
問14で「1.子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した方にかかっています。それ以外の方は、問17へお進みください。

問15 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因について、下の理由のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因をみると、「大学教育にかかる費用」が85.5%で最も多く、次いで、「塾や習い事にかかる費用」が79.9%、「高等学校教育にかかる費用」が68.2%となっている。

前回調査に比べて、「大学教育にかかる費用」が最も多い点は同様だが、ポイントは6.1ポイント低下しており、前回調査はなかった「塾や習い事にかかる費用」が非常に高い割合となっている。また、「出産にかかる費用」が10.1ポイント、「衣食住にかかる費用」が8.6ポイント上昇している。

図表 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因



※「子育てサービス（一時預かり・ベビーシッターなど）にかかる費用」「塾や習い事にかかる費用」は今回調査からの新規項目

※ H30 県調査では無回答の掲載なし

(7) 子どもはいらないと考える要因

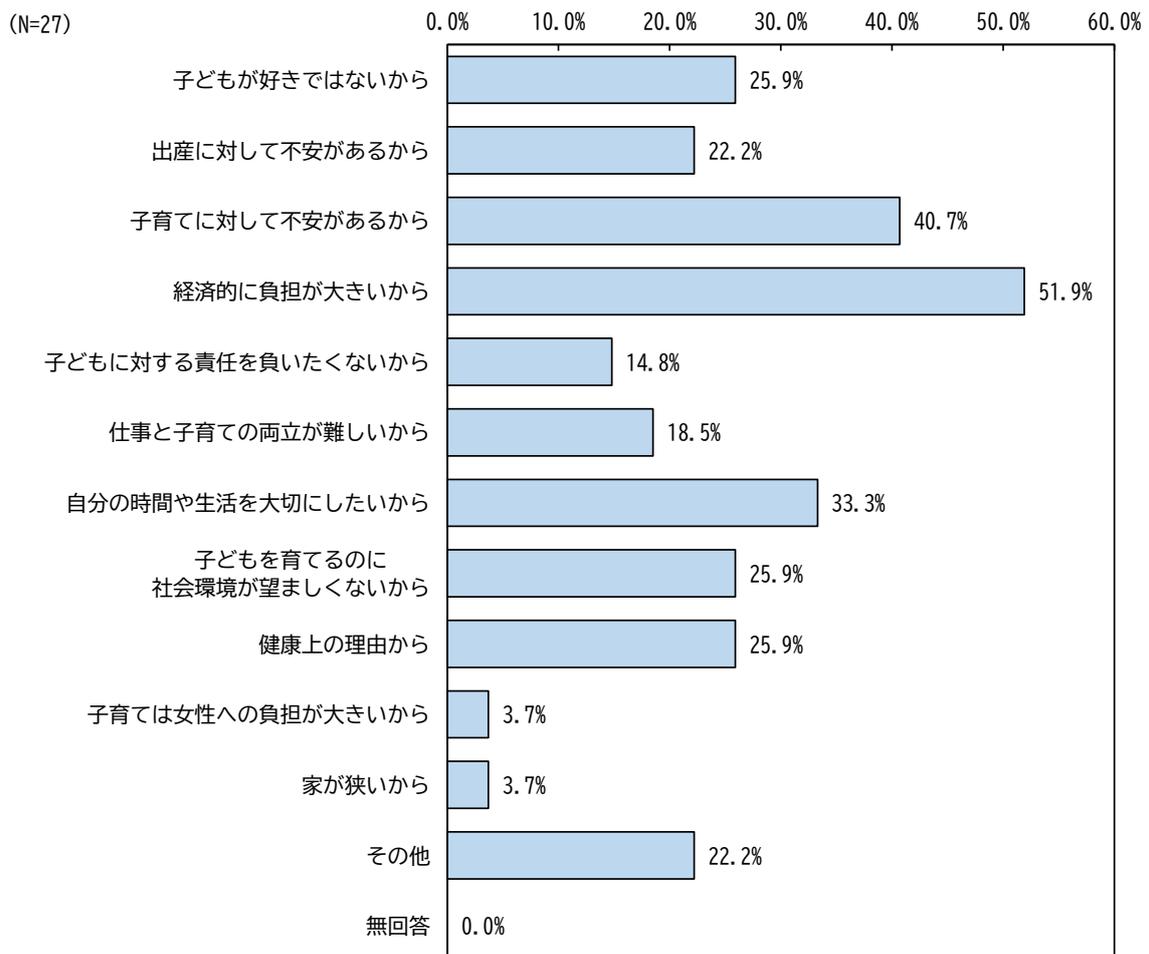
問12で「子どもはいない」と回答した方にうかがいます。

問16 子どもはいらないと考える要因について、下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもはいらないと考える要因をみると、「経済的に負担が大きいから」が51.9%で最も多く、次いで、「子育てに対して不安があるから」が40.7%、「自分の時間や生活を大切にしたいから」が33.3%となっている。

(※サンプル数が少ない点に留意が必要である。)

図表 子どもはいらないと考える要因



※新規質問項目